

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【 北九州市立二島中学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	二島中学校 全学年 348人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> 車いすを使って生活する苦労や工夫を知り、障害をもった方たちと共生する社会について考える。 二條実穂選手の話聞き、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。
5 取組内容	<p>講演会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前指導において、各学年、二條選手や車いすテニス、障害をもった方たちのことを学習して望ませた。 1学年50分の講演を学年ごとに3回行っていただいた。 競技用車いすの説明をしていただいた。 事後指導では、講演直後に感想文を書かせたことで、生徒は、素直な思いを感想文に書くことができた。 <p>（コロナウイルス感染拡大防止の為、事前学習の車いす体験は中止） （講演写真については、講演者の許可が下りない為、掲載できません）</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子を使う立場になって考え、障害をもった方たちと共生する豊かな社会をつくらうとする心情を養うことができた。 車椅子テニス選手に尊敬の念を持ち、その心情の強さを感じ、人の生き方について考え、自分の目標へとつなげることができた。
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> オリンピックやパラリンピックの選手から直接講話を聞くことで、オリンピックやパラリンピック教育の充実を図ろうと工夫をした。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> 今回のような著名な講師を依頼するときに、予算面での課題があった。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 今年度同様、講話を中心に活用し、障害をもった方たちと共生する社会について考えさせていく予定である。